

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか。	5		・利用人数が増えてきて、やりたいことが限られてくるため、スペースの使い方を運動内容によって使い分けている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・場合によっては個別対応が必要な児童に対して職員の手が足りないと感じることもあるため、職員間で連携できるように役割を分けている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・掲示物や絵カードなど用いて情報伝達を工夫している。 ・まだまだ改善できると感じている部分に対しては、今後の課題として挙げていっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・療育前後で定期的に清掃をしているが、療育中に 出た汚れやゴミなどはその都度清潔にしている。 ・床に敷いている衝撃吸収マットの管理を夏冬に分けて環境調整をしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用する事が認められる環境になっているか。	2	3	・広い1フロアで療育を行っているため、クールダウンや別メニューで対応できる部屋がなく、必要に応じて相談室や更衣室を利用している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・毎月定期的に会議を行っている。 ・現場については毎週話し合っている。
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者向け評価表を利用している。改善できる点がないか職員で確認している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・個人面談やミーティングなどを行っている。 ・適宜必要に応じて話し合っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・第三者による視察・評価を適宜行っている。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		

適切な支援の提供

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		
14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	その都度行っているが、どの職員が見ても把握しやすいように今後の改題として改善していく。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		・毎週プログラムを更新している。今年度は特定の職員を筆頭に立案したが、来年度は職員全体で立案する体制へ変更する。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・毎週プログラムを変更している。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後デイサービス計画を作成し、支援しているか。	5		・ICT教材や製作日々の個人ワーク（自由時間）と、集団活動の時間を分けて設けている。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・各職員の出勤時間が異なり送迎対応もしているため開始前の細かい打ち合わせは十分できていないと感することがあった。そのため、前日にも利用者様の情報や運動メニューに合わせた役割分担について確認の話し合いを行っている。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・職員のシフトの都合上、全員集まったの当日の振り返りは難しいが、翌出勤日には全員が把握できるように共有ツールを用いたり話し合いの場を設けている。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・手書きの連絡帳からHUGへ変更し、写真の記録も残ることもあり、支援の検証や状況共有などが職員間でもわかりやすくなっている。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・児発管が中心に行っている。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・療育中（特にお当番決め、サーキットや集団活動中の運動種目等）に自己選択をする機会を設けており、それぞれの児童に合わせて取り組んでいる。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・医療機関との直接的な連携の機会は少ないものの、必要な情報提供は保護者を通じて行っている。教育関係機関とは必要に応じてケース会議等に参加し連携をとっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	・保護者を通じて情報共有など連携をとったり、送迎時に対面した際に情報共有や相互理解に努めている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	・とわねは小学生までの利用となるため、中学生で利用する予定の他事業所がある場合は情報提供を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けている機会を設けているか。	2	2	・外部研修などに参加しているが、より積極的に参加できるよう体制を整えていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・サンハート合同こども祭り、落語、人形劇、獅子など併設している放課後児童クラブとイベントを通して関わる機会や一緒に活動する機会を設けている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	・機会があった際には参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・普段の連絡帳や送迎時に対面した際に情報共有しており、必要時には電話や面談等で相談に応じられる環境を整えている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等が行っているか。	3	2	・保護者の方より連絡帳やメモ書き込みによる相談がある時には個別対応をしている。また、家族支援にて面談や参観などを行った。
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・保護者面談や電話での聞き取りなどを行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		

保護者への説明等

39	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		・保護者の方より連絡帳やメモの書き込みや電話による相談がある際には、解決策を一緒に考えたり、療育場面でも課題として対応している。
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	・サンハート合同であるこども祭りにて交流する場は設けている。年に1回のイベントのため、参加できない方への交流の機会が今後の課題として挙がる。来年のこども祭りも実施に向けて検討している。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	・社内で話し合い、保護者の方へ迅速な対応ができるように努めている。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を利用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・インスタグラムにてイベントや療育中の様子を発信している。
43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	5		
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・絵カードの利用などどなたにも分かりやすい視覚化を意識している。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	4		・サンハート合同のこども祭りを開催している。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・各マニュアルが職員・家族に十分に周知されていないと感じるため、親子共にわかりやすい表記として「とわねのしおり」の作成を計画している。
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時に保護者からの情報を得ている。また職員間で共有している。
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・契約時や変更時に保護者からの申し出により対応している。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・研修を定期的に行っているが、安全計画・安全管理が十分にできていると職員間で認識できるように、日々の業務の中に取り入れられることを都度検討している。
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・家族への周知が十分にでないと感じるため、緊急時の対応や緊急連絡先等を改めて確認していく予定。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5		

非常時等の対応

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とわねの玄関外はすぐに道路があるため、安全面の配慮としてドアロックを行っている。鍵をかけることへの説明は十分にできるように更新に合わせて個別支援計画書への記載を行っている。